

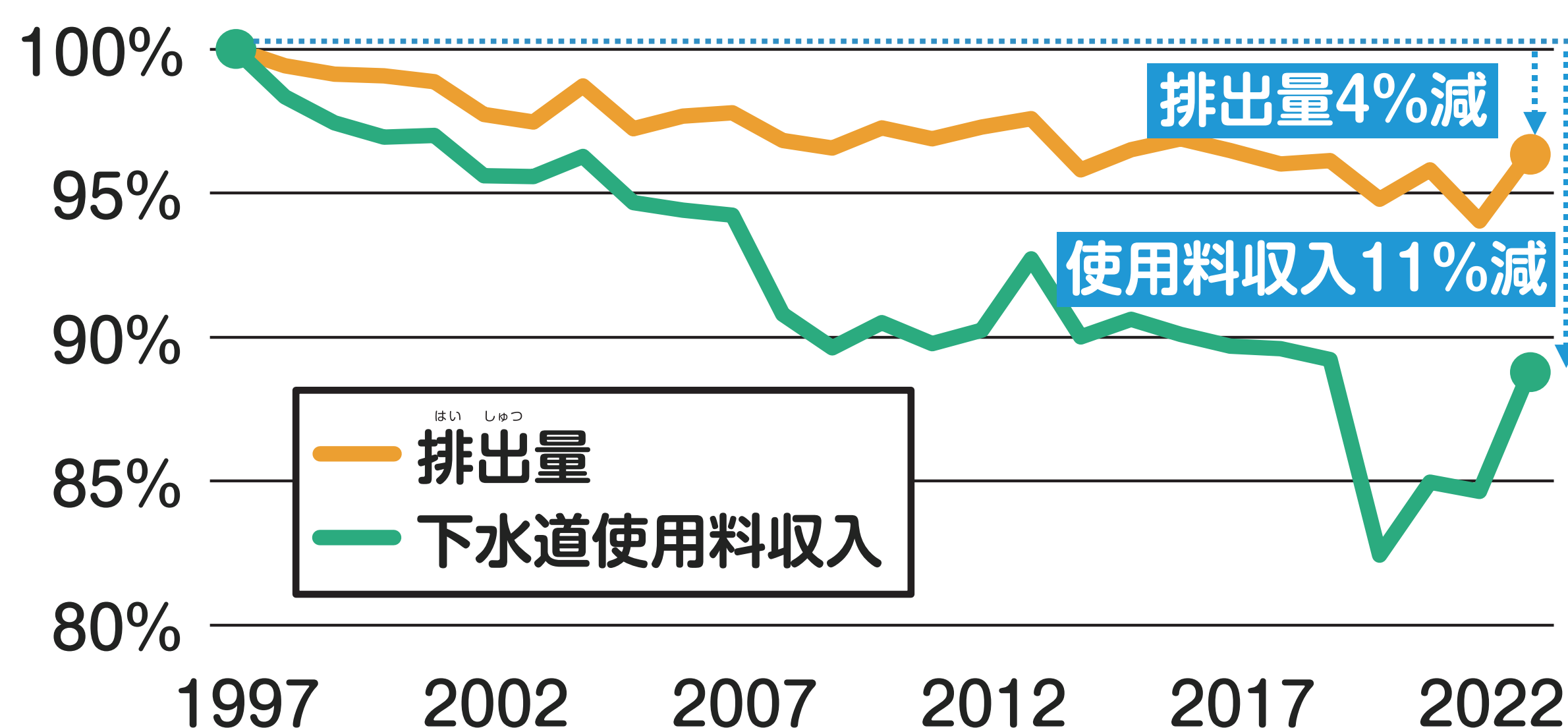
厳しい経営状況



排水量の減少による使用料収入の減少

節水技術の向上や節水意識の高まりにより排水量が減少した結果、下水道使用料収入は減少しました。

今後、人口減少により排水量はさらに減少することが想定されるため、下水道使用料収入もさらに減少することが見込まれます。

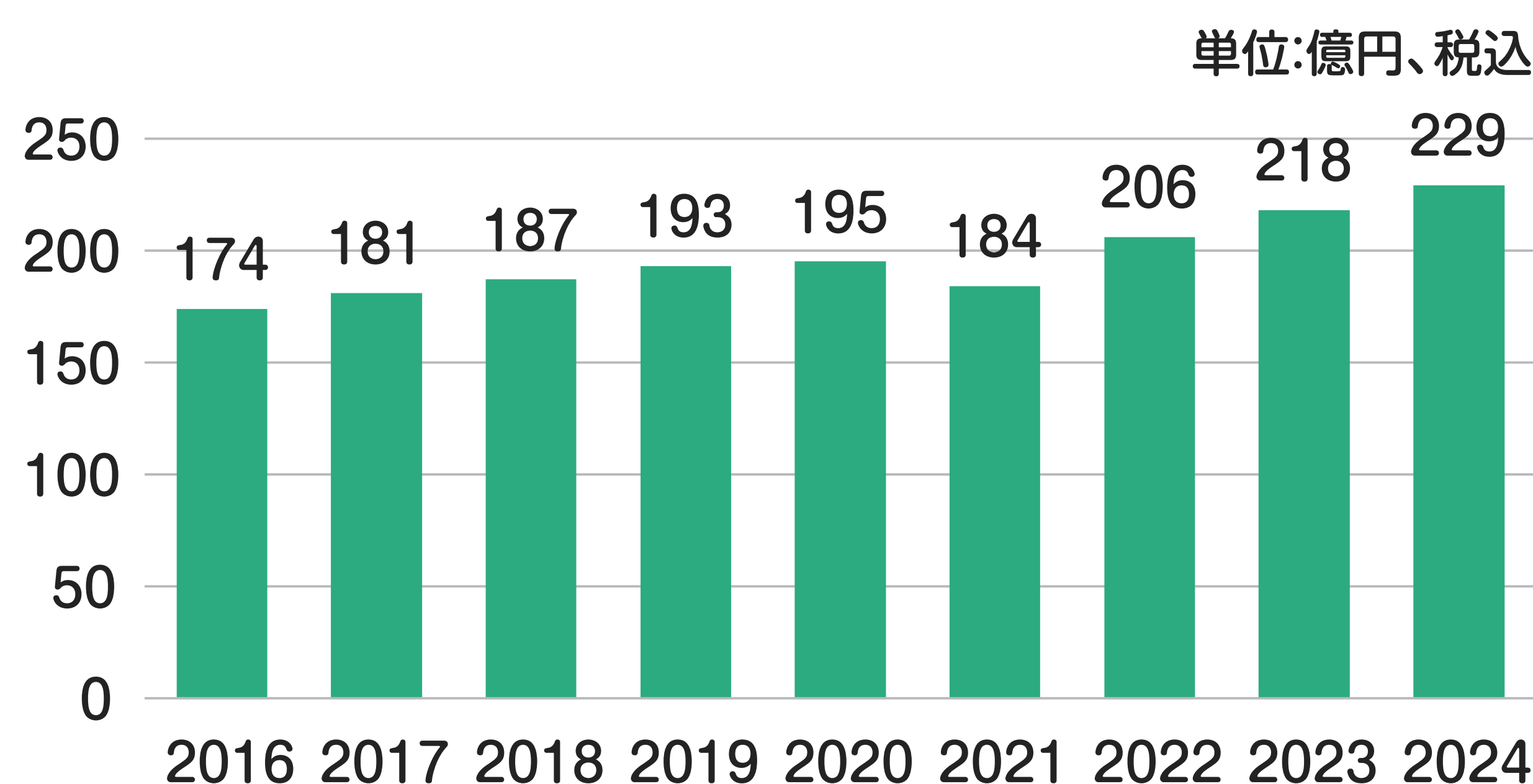


排水量と下水道使用料収入の推移
(1997年度を100%とした場合)

物価高騰などによる維持管理費の増加

昨今の不安定な世界情勢によるエネルギー価格の高騰により、電気料金や資材費などの物価が大きく高騰した結果、維持管理費は大きく増加しました。

今後もこの物価の上昇傾向は続くものと想定しているため、維持管理費はさらに増加することが見込まれます。

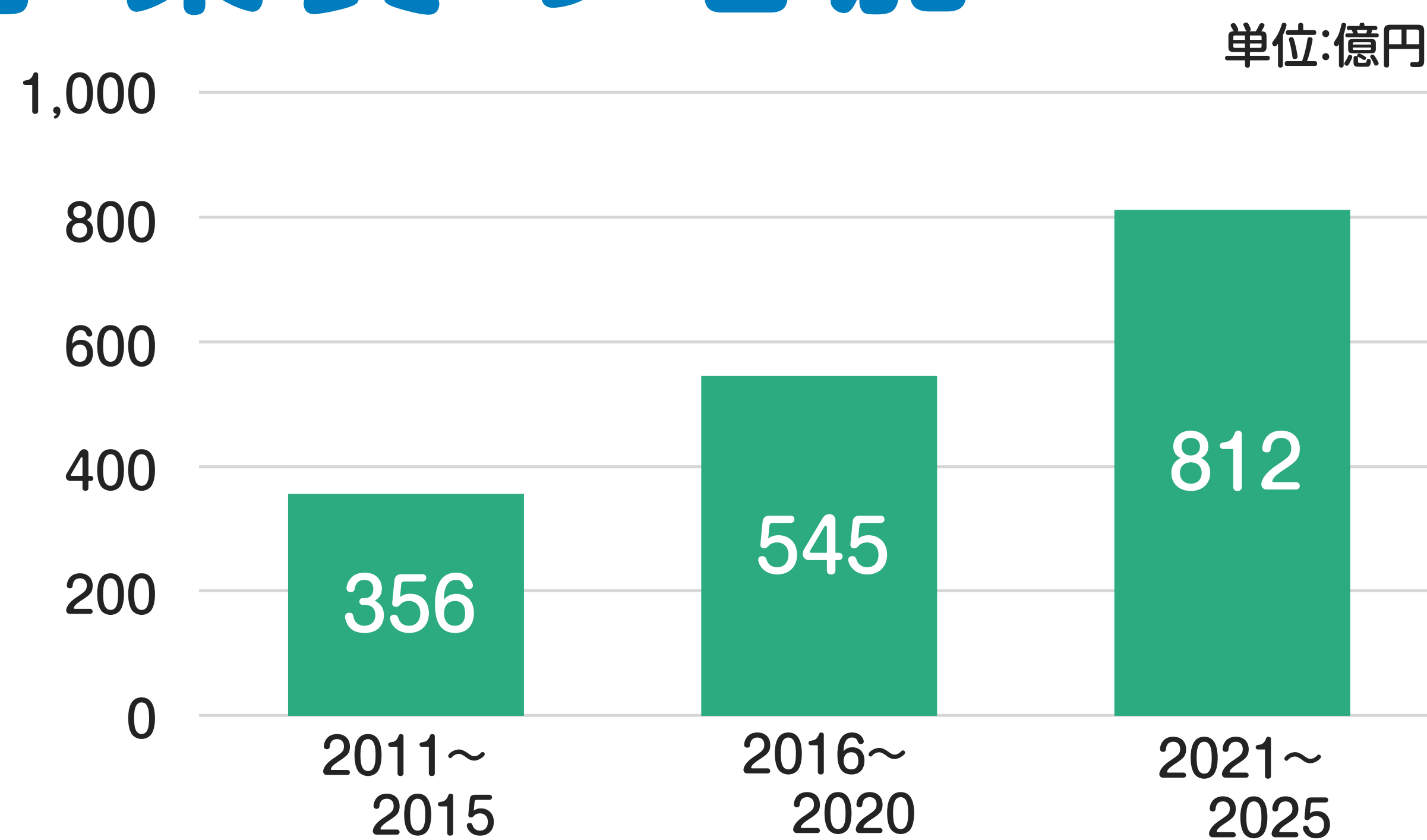


維持管理費の推移

老朽化に伴う改築事業費の増加

下水道施設は、昭和40年から50年代に集中的に整備を進めたことにより、近年、改築事業費は増加してきました。

今後は改築がピークを迎えるため、改築事業費はさらに増加することが見込まれます。



事業計画ごとの改築事業費の推移

こうした状況の中、令和5年度決算において、14年ぶりに経常損失(赤字)が発生するなど、経営状況は悪化しており、今後も厳しい状況が続くことから、令和7年3月14日に「持続可能な下水道サービス提供のための受益者負担のあり方」について、札幌市営企業調査審議会に諮問しました。